

令和7年度汚泥肥料化利用検討試験の汚泥成分分析結果について

概要

- 令和5年度より汚泥肥料の肥料成分と重金属成分等の分析を実施。
- 令和6年度より、く溶性リン酸と水溶性リン酸、P F A S の分析を追加した。
- 分析結果としては、重金属成分のニッケルは肥料法の基準値を下回る結果だった。

汚泥肥料分析データ

項目分類	検査項目	令和6年度	令和7年度	基準値	単位
肥料成分	窒素全量	1.3	1.2	-	%
	リン酸全量	0.91	0.92	-	%
	く溶性リン酸	0.66	0.79	-	%
	水溶性リン酸	0.15	0.24	-	%
	加里全量	0.02	0.03	-	%
	石灰全量	0.4	0.45	-	%
	亜鉛全量	150	130	-	mg/kg
	銅全量	190	160	-	mg/kg
	炭素窒素比	8	6	-	-
重金属成分(乾物値)	ニッケル	60未満	120	300	mg/kg
その他	PFAS	0.5未満	0.5未満	-	μg/kg

令和7年度汚泥肥料化利用検討試験の土壌成分分析結果について

概要

- 令和5年度より、汚泥肥料を施用した試験田の土壌の重金属成分等の分析を実施。
- 令和6年度より、比較のために化成肥料区の土壌分析も実施した。
- 分析結果としては、全ての測定項目で関連法令の基準値を下回った。

土壌分析結果

各項目	令和6年（稲刈り後）		令和7年（稲刈り後）		基準値	単位
	汚泥肥料区	化成肥料区	汚泥肥料区	化成肥料区		
カドミウム及びその化合物	5.0 未満	5.0 未満	1 未満	1 未満	150	mg/kg
鉛及びその化合物	26	26	24	26	150	
ヒ素及びその化合物	2.7	2.4	3.6	3.1	15	
銅及びその化合物	11	9	17	13	125	
亜鉛	100	100	100	100	120	